

# 憲法や政権 直言重ね

憲法学者の水島朝穂・早稲田大教授(左)がホームページ(H.P.)

で毎週一回更新する憲法を読み解くエッセー「直言」が今月十四日で千回に達した。写真。開始から約十九年。集団的自衛権の行使が容認されるなど平和憲法の土台が揺らぐ中、今後も憲法をめぐる動きに警鐘を鳴らし続ける。(関口克己)

安保法制に反対する「立憲アモクラシーの会」の呼び掛け人などを務める水島氏。自身のHP「平和憲法のメッセージ」で毎週月曜日に更新しているのが、エッセー「直言」だ。

一九九七年一月三日。知人から「HPというものがある。先生の名前で作るから、文章を書いてほしい」と誘われ、軽い気持ちで応じた。

初回のテーマは、発生直後のペル日本大使公邸人質事件。海外でテロに遭った邦人救出に関し「自衛隊に特殊部隊をつくれ」という世論を煽ることはやめるべきだ」と冷静な議論を呼び掛けた。

まだHPが珍しい時代。ネット上に自分の考えが載り「おもしろいですね」。すると知人は「では、来週も」。続けるつもりはなかったが、評判も高まりやめられなくなった。

当時の首相は故橋本龍太郎氏。現在の安倍晋三氏まで延べ九人も代わったが、水島氏は一年間のドイツ在外研究中も休まず政権と憲法を定時観測してきた。

水島氏のHPの閲覧者は一日、千〜二千人程度。それが、安保法制が成立した今年には五千人を超える日もあった。「直言」は、野党議員が国会で質問する材料としてたびたび引用された。国会審議が進むにつれ、

# 1000回

## 早大・水島教授HPエッセー

「歴史の危機」のなかで——「直言」1000回記念

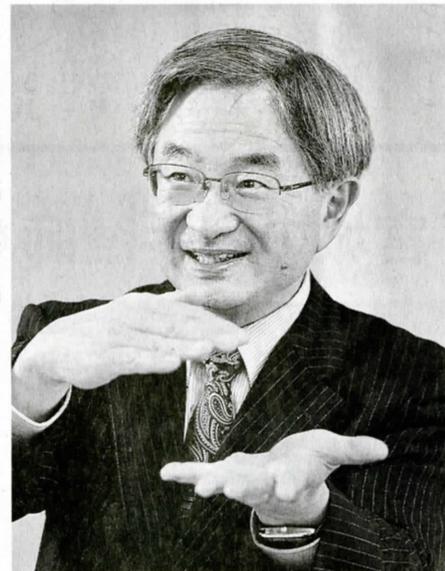
2015年12月14



1997年1月3日にスタートした私のホームページが、今日でちょうど1000回となった。週1回といえど1000回には少し欠ける。それでも、1機をさまざまなテーマや切り口を使って、毎週日曜日の02回は、在外研究中のドイツ・ボンで「人生のVSOF」を出したときのタイトルは、「人生のVSOF以上はpersonalityがその年代の軸になると63歳。連続更新1500回を迎えるのは、早大定

7年ほど前からブログが普及して、ネット上ではツイッターという形で、分単位(秒単位)の発信が行われている。でも、私はブログ修行にこだわってきた。おそらく、これからこの形をずっと続けることになるだろう。

私自身はホームページ作成のテクニカルなことはまったくなからなないし、できない。だから199



ホームページで97年から続けている「直言」について話す早稲田大の水島朝穂教授＝東京都新宿区で

### 建造物侵入罪で 韓国人の男起訴

靖国神社爆発音

東京・靖国神社の公衆トイレで爆発音が生じて不審物が見つかった事件で、東京地検は二十八日、建造物侵入の罪で、韓国人の職業不詳全昶漢容疑者(モ)を起訴した。

トイレの男性用個室の天井裏にあった金属製パイプ内には黒色火薬が入っており

## 野党議員も注目 「壊憲 これからも対峙」

多くの矛盾が明らかになった安保法制は、与党などの賛成多数で九月十九日に成立。それでも、水島氏は二日後の「直言」で「廃止法案」を直ちに国会に」と呼び掛けた。「直言」開始から約十九年。今は多くの人がツイッターやブログで分秒刻みでメッセージを発信する。

だが、水島氏は「瞬時のつばやきは、主張が前のめりになる。自分にはHPがいい」と話す。とはいえ、講義や講演の合間を縫って、毎週更新のために数千字を書くには気力と体力を消耗する。家族は「隔週にしたら」と言うが、本人は「そつした途端に感覚は鈍り、書けなくなる」と、今のスタイルにこだわる。千回目はこう結んだ。「これからも、安倍政権の『壊憲』と対峙して、批判的な言論空間を創出していきたい」「直言」は、初回分から全て公開している。二十八日現在千二回。HPのアドレスは<http://www.saho.com/>

気象庁は二十八日、一月四日までの年末年始の天気予報を発表した。太平洋側は晴れ、日本海側は曇りや雪、雨の日が多くなる。荒れる見込みはなく穏やかな

年末年始のお天気						
29	30	31	1	2	3	4
(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)
札幌	☁	☁	☁	☁	☁	☁
仙台	40	50	50	50	60	60
新潟	30	30	20	20	30	40

## 太平洋側晴

気象庁は二十八日、一月